

# 『つい』『うっかり』『うる覚え』に注意

日本代協近畿ブロック協議会

## 「コンプライアンスと代理店の賠償責任」テーマにセミナー



小橋会長

小橋会長（京都代協）は、冒頭の挨拶で、コロナ禍での電話募集など、従来とは違った形の募集活動が、些細なミスや、うっかりミスにつながる可能性があると指摘。「今回のセミナーで代理店の責任を再確認して、代理店賠償で自分た

長は冒頭の挨拶で、コロナ禍での電話募集など、従来とは違った形の募集活動が、些細なミスや、うっかりミスにつながる可能性があると指摘。「今回のセミナーで代理店の責任を再確認して、代理店賠償で自分た

ちだけでなく顧客を守るといふ信念を持って活動している」と呼び掛けた。杉山氏はまず、保険代理店のコンプライアンス徹底を求めているとして、業法第283条による求償等に関する内容などを一方で、「最近は代理店にコンプライアンス徹

底を求めていたりして、283条2の免責を主張する保険会社が増えていく」と指摘。一層の注意が必要だと喚起した。

東京海上日動は、最新の社会情勢に対する社員の理解を深めるために、全国どこからでも参加できるオーブンな社内コミュニケーションの場を創るために、2020年9月から一部の社員で利用を開始していた両コンテンツのこれまでの約半年間の取り組みを通じて、一定の効果が確認できたことから、本

日本代協近畿ブロック協議会（滋賀県代協・京都代協・奈良県代協）小橋信彦会長は、昨年12月11日、「コンプライアンスと代理店の賠償責任」をテーマにオンラインセミナーを開催した。講師は元チャブ保険の杉山幹久氏。保険代理店のコンプライアンスを再確認することも、実際のトラブル事例から注意すべき点を共有した。

### 説明時には確認が重要

#### 代理店委託契約書を再確認



杉山氏

業法第283条による求償等に関する内容などを一方で、「最近は代理店にコンプライアンス徹

底を求めていたりして、283条2の免責を主張する保険会社が増えていく」と指摘。一層の注意が必要だと喚起した。

東京海上日動は、最新の社会情勢に対する社員の理解を深めるために、全国どこからでも参加できるオーブンな社内コミュニケーションの場を創るために、2020年9月から一部の社員で利用を開始していた両コンテンツのこれまでの約半年間の取り組みを通じて、一定の効果が確認できたことから、本

日本代協近畿ブロック協議会（滋賀県代協・京都代協・奈良県代協）小橋信彦会長は、昨年12月11日、「コンプライアンスと代理店の賠償責任」をテーマにオンラインセミナーを開催した。講師は元チャブ保険の杉山幹久氏。保険代理店のコンプライアンスを再確認することも、実際のトラブル事例から注意すべき点を共有した。

明になり得ると指摘。正当事例を紹介した。中でも確な情報提供のために、賠償責任保険の特約に確認することが重要と注意を促した。

チャブ保険の代理店賠償の問い合わせ窓口には毎日2~3件の相談が寄せられているという。同氏は、相談の9割が保険業法第283条による求償等に関する内容などを一方で、「最近は代理店にコンプライアンス徹

底を求めていたりして、283条2の免責を主張する保険会社が増えていく」と指摘。一層の注意が必要だと喚起した。

東京海上日動は、最新の社会情勢に対する社員の理解を深めるために、全国どこからでも参加できるオーブンな社内コミュニケーションの場を創るために、2020年9月から一部の社員で利用を開始していた両コンテンツのこれまでの約半年間の取り組みを通じて、一定の効果が確認できたことから、本

日本代協近畿ブロック協議会（滋賀県代協・京都代協・奈良県代協）小橋信彦会長は、昨年12月11日、「コンプライアンスと代理店の賠償責任」をテーマにオンラインセミナーを開催した。講師は元チャブ保険の杉山幹久氏。保険代理店のコンプライアンスを再確認することも、実際のトラブル事例から注意すべき点を共有した。

日本代協近畿ブロック協議会（滋賀県代協・京都代協・奈良県代協）小橋信彦会長は、昨年12月11日、「コンプライアンスと代理店の賠償責任」をテーマにオンラインセミナーを開催した。講師は元チャブ保険の杉山幹久氏。保険代理店のコンプライアンスを再確認することも、実際のトラブル事例から注意すべき点を共有した。